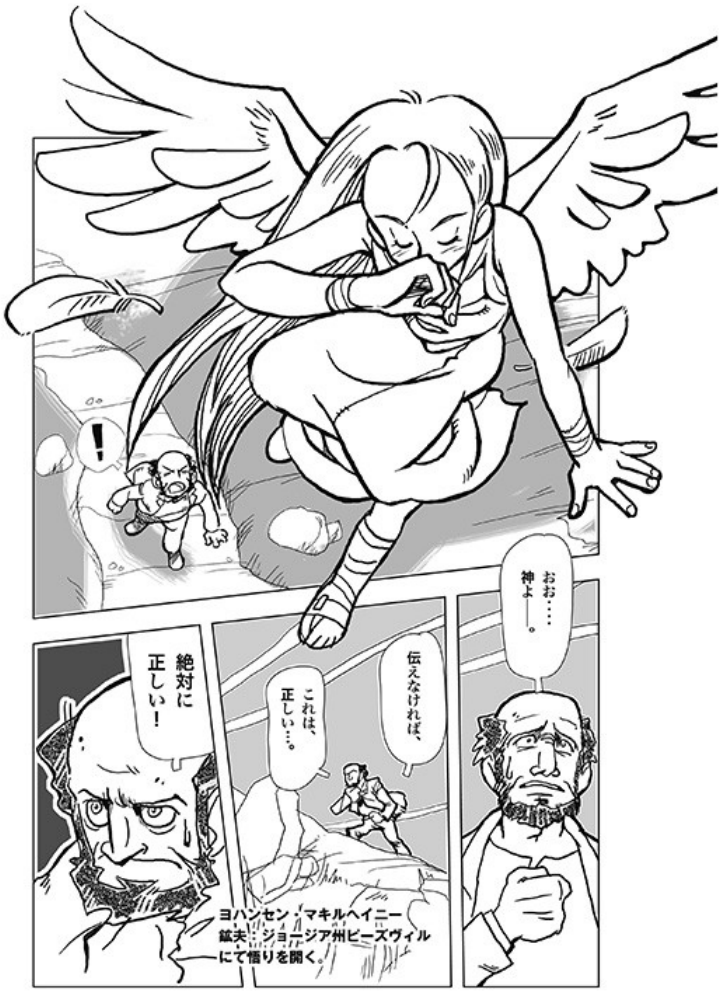
ドーセット葬儀社より謹告。
「残念ながら、女性の御遺骸については、
当社にてはお取り扱い出来かねます。」

# ラセンウジバエ解決法

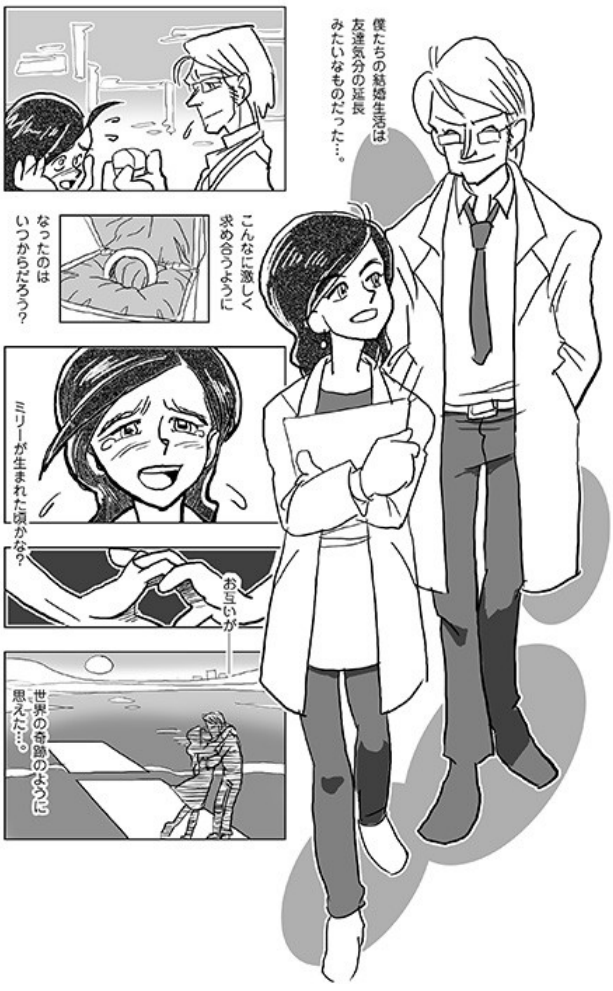
# ラセンウジバエ解決法

本書はジェイムズ・ティプトリー・Jr 著：早川書房刊：短編集「星ぼしの荒野から」の中編、「ラセンウジバエ解決法」を脚色したものである。

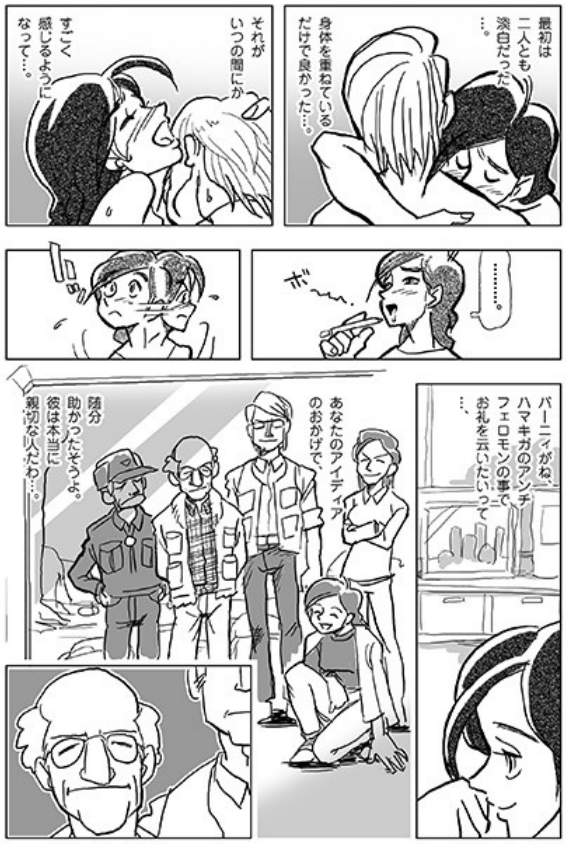

おお…
神よ――。
伝えなければ、
これは、
正しい…。
絶対に
正しい！
!
ヨハンセン・マキルヘイニー
鉱夫・ジョージア州ビーズヴィル
にて悟りを開く。

ミシガン州
アン・アーバー
ドクター・アルスタイン
良かったら、この後食事でも……！
馬鹿だな。アンとアランのおしどり夫婦を知らないか。
先週来たばっかだし…。
ミシガン大学生物学部でこれ以上のカップルはいないと云われたんだぜ。
へぇー。
聞こえてるのよ。
そのおしどりカップルも実は別居状態だけどね。
親愛なるアランへ。
コロンビアの空はいかがですか…、と。
ママ…？
またパパに手紙？よく飽きないね。

最愛の夫だしネー。
バーニィから電話あったよ。
来週、雨どい見てくれろって。
教授から？ちゃんとごあいさつした？
私、もー
あら、そー？
子供じゃないし。
こんな時、ほかの奥様方はどうなさっているのかしら？
「宅の夫はコロンビアで生物学的防虫駆除のために働いていますの。」とか、ジレっと云ってみましょうか？
ふ。
おっ！シニョール。
ブッブッ
うまい具合にハエ集まってろよ。
殺虫剤は使ってないね？


僕たちの結婚生活は
友達気分の延長
みたいなものだった…。
こんなに激しく
求め合うように
なったのは
いつからだろう?
ミリーが生まれた頃かな?
お互いが
世界の奇跡のように
思えた…。

まずはこのハエの
ライフサイクルを
掴む。そして弱い
一環を探す。
弱い一環?
そう。
例えば:
食物とか、
生殖回数とか…、
種としての油断が
ある部分さ。
エドワード・ニップリングは
50年代にこいつで
北米のラセンウジバエを
防除したんだ。
僕はここでも
それが使えると
思っている。
ドクター・アルスタイン、
手紙が届いています!!
妻からかい?


最初は
二人とも
淡白だった
…。
身体を重ねている
だけで良かった…。
それが
いつの間にか
すごく
感じるように
なって…。
……。
ボ～…
バーニィがね、
ハマキガのアンチ
フェロモンの事で
お礼を云いたいって
…。
あなたのアイディア
のおかげで、
随分
助かったそうよ。
彼は本当に
親切な人だわ…。

……。
ああ…
早く
帰りたいよ…
アン――。
そうそう
ビーズヴィルの
事件だけど、
何だか
おかしな事に
なってきたわ。
ジョージア州　ビーズヴィル封鎖線
ウィラード・ミューズ軍曹の証言
仮にあれが宗教だとしても、
何故だれも手をこまねいて
いるのかしら――。

ブロロロ
「"解放区"
アダムの息子たち教団」
RELEASE AREA
by Adam's Son
ゴゴゴ
町長のプラントです。
土と水の採集？
ええ、ええ、構いませんよ。
何か見つかるとは思いませんがね、
——ははは。
このビーズヴィルが汚染なんと…？
ﾊｯ
!!!

公衆衛生局の依頼で参りました。
ブリマックです。
ご苦労さまです。アシュトン旅団のハインツ大佐です。
待ってください。調査団に女性が？
うん、それは確認済みのはずだが…。
危険です。彼らは女性であれば、大人であれ子供であれ容赦しませんよ。
しかし大佐、それでは…。
む…。そうしてくれますか。
ブリマック博士…。そういう事でしたら私、ここで…。
私は疫学者ですから、現地に入らなければ来た意味がありません。
フェイ博士…。
——。安全は保障できませんよ。
Boooo
Vooooo

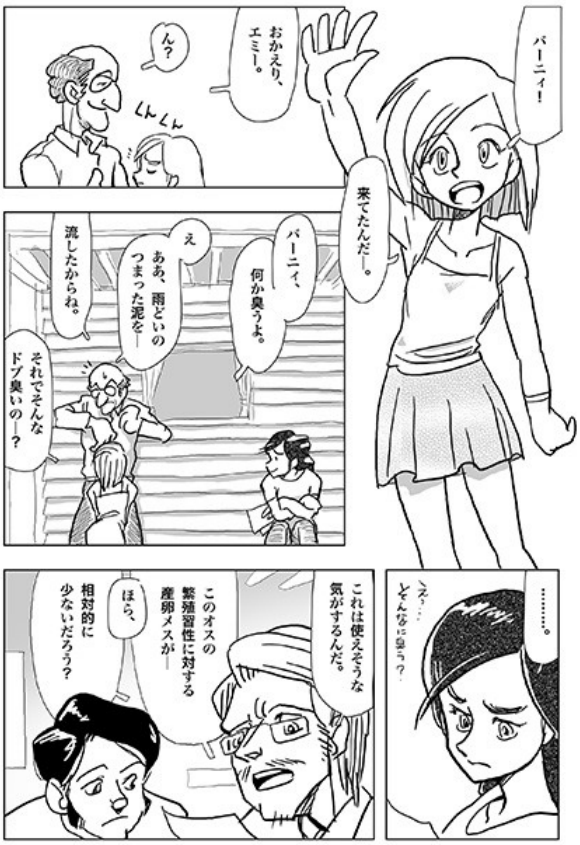
?
そこのお前、顔を見せなさい。
あっ
いや、彼は…。
"女"か!?
まだだ…
帰れ
何だ!?人が親切で…。
それを、
待ってください!
我々の不注意です。謝罪します。
ですから!
!
そんな訳だから…フェイ博士、すまんが…、
わかりました。
そいつを表に出すんじゃないぞ!!

まったく…聞きしに勝る状況ね。
とにかく!博士は待機していてください。
?
少尉も感染しているんじゃないの。
そんな訳ないでしょう!
"マキルヘイニー師の語る、神の意志12号"
HANDBook
JA Machinery
……。
神はそこまで来ている。今、我々に求められているのは、人間が動物から一線を画す存在へステップアップする事なのだ!!
ふーん。

ドクター・フェイ。
お前のためだ。わかるな？
この手のタイプは一番たちが悪いんだ。
お前、もう少しでXXXされるところだったぞ…。
まっ大事に至らなくて良かった。
なっ。
はい。
ありがとうございます。

町長？
ごくろうさま。
女は奥かね？
ええ、おとなしくしてます。
そうか…。
ガチャ
少尉！
町長!!
ふ…。
どうされたんです!?
よく見て置け…。
チャッ

何これ…？
バーニィ。
先の新聞報道で伏せられた報告書だよ。
今、アメリカで起きている事の実態だ、アン。
でも…こんな、僕は間違っていないと思いますって…
どう考えたって…。
認識異常だね。
でも州の調査委員会の見解は中毒による集団ヒステリーで収まりそうなんだ。
誰もがハレモノを触るかのように扱うけれど…、
事態は確実に進行している。
ただでは済まんよ、これは――。

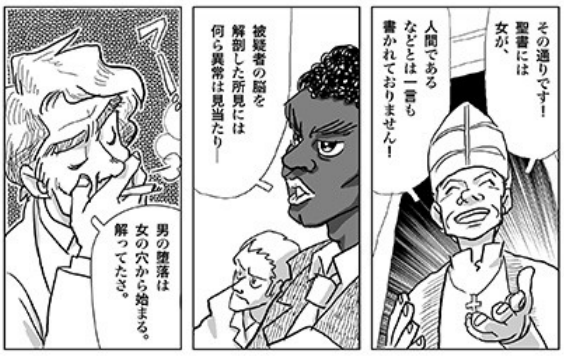

バーニィ！
来てたんだー。
おかえり、エミー。
ん？
バーニィ、何か臭うよ。
ええ、雨どいのつまった泥を――
流したからね。
それでそんなドブ臭いの――？
……。
えっ？どんなに臭う？
これは使えそうな気がするんだ。
このオスの繁殖習性に対する産卵メスが――
ほら、相対的に少ないだろう？

そこで不妊処理したメスを大量に放せば…。
つまりラセンウジバエの場合の逆ですね。
そうだ。
…幸い個体群が独立している場合が多いから。
2サイクルも続ければ…。
次の次のシーズンでは人間に卵を植え付けるハエは激減するだろう。
イケますよ！これは。
やりましたね、アルスタイン博士。
いや、これからだよ。
個体の減衰モデルが正しいかどうかを確認しないと。
それ、なんですけど
わたし先に引き上げても構いませんか？
どうしたんだい？
家の母が：セントルイスなんですけど…
一週間ほど前から連絡が取れなくて…。
今、物騒じゃないですか？女殺し教団とか。
ヒソヒソ
—親愛なるアランへ——。

あなたの妻はちょっと怖えているみたい——。
……。
あなたの妻はちょっとヒビっているみたいですよ。
こちらは平常です。異常なのに平常——。
ビーズヴィルの恐怖は収まるどころか、拡大の一途。
ダラスやサンジェゴからは通信が途絶えたと云うのに連邦政府は何の手も打たないんです。
バーニィの話ではすでに外国にも飛び火していて、大阪や上海などの女性たちが……。
国連の委員会にもバーニィが出席したのだけれど…。
今すぐ広範な標本調査を実施すべきです。
必要ないんじゃないか？所詮カルトだろ、これは？
人も予算もそうは充てられんよ。
何が一番の無駄かって教えてやる！
止めろ！
ブラッ
即刻、逮捕。拘留——。

ジャクソンビル
サンジェゴ
ピースヴィル
ロスアンジェルス
ヒューストン
メンフィス
コロンバス
フォートワース
アトランタ
モンロー
トリポリ
ダラス
アン……。
アルジェ
カイロ
アウファーク
武漢
サファランブール
重慶
成都
上海
大阪
鹿児島


ゴオオォ


その通りです！
聖書には
女が、
人間である
などとは一言も
書かれておりません！
被疑者の脳を
解剖した所見には
何ら異常は見当たり―
男の堕落は
女の穴から始まる。
解ってたさ。

まるでどこか
知らない別の
惑星に居るようです。
何かが
間違っています。
とんでもない事です。

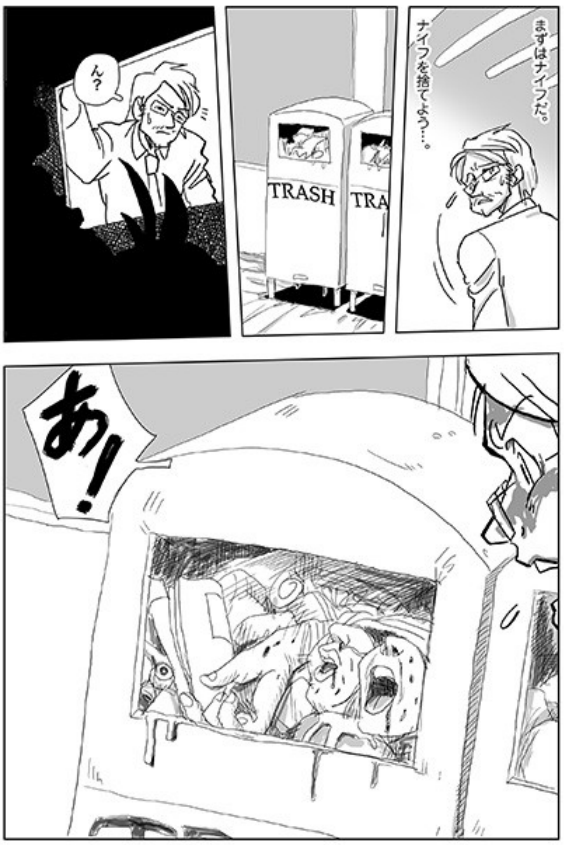
バーニィから、あなたに
ことづてがあるのですが、
私には意味がわかりません
でした。
考えてください。
〝次の落都市に
共通する項目は何か？
熱帯集束帯を考慮のこと。〟

ドォーン…
ああ、今マイアミに着いたよ。
本当に？ああ！良かった！
これからトランジットでアンアーバーへ戻る。
おお…
アラン!?あなたなの!?
エミー！
パパが帰って来るわよ！
パパが!?
よかった…。
ほんとうに…。

音響は期待するな！目視にてダラスを援護する!!
了解！
ロックオンサレマシタ。タダチニ脱出シテ下サイ。
先輩!!早く!!
ダメ!!
タダチニ脱出シ下サイ。タダチニ脱出シ
ドゴーン!!
あいつらッ！許せねぇ!!
ロックオンシマシタ
わたしのママをミンチみたく刻みやがって!!
絶対!!許さねぇ!!
ピピピピピ

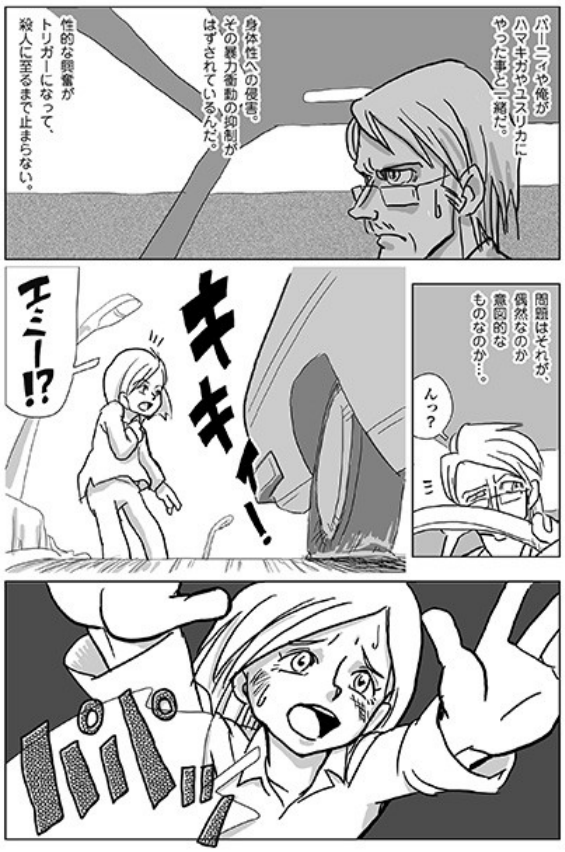
そして…
そのはち切れんばかりの
肌にサクっと
ナイフを差し入れ…
……。
……。
？
何が変だな…？
サクっとナイフを
ナイフ？
アンの身体に！？
えっ……。
俺、ナイフなんか
出して何を
するつもりだったんだ？
感染した？
ちょっと
待ってくれ…。
……。
全然、不自然に
思えない！
何だ？
この正しさの
感覚は――!!

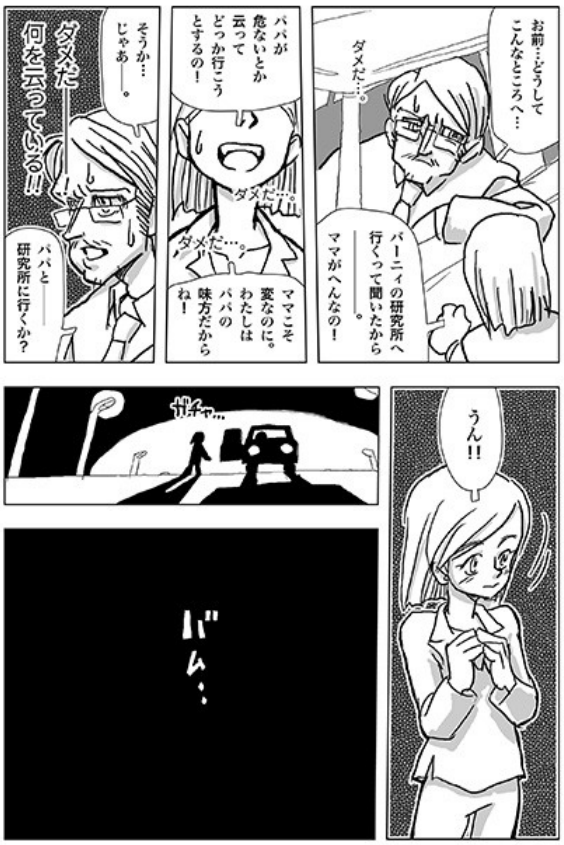
アンとエミーを連れて
とにかく安全な所へ…、
北、…そうだ
カナダのユーコンなら…
あそこならマーサも
居るし…。
最後に
行ったのは
確か…、
！
そうだ…、
まだエミーが
小さかった頃、
……。
あの時か…。
普段なら
着ないような、
黒のビキニを
着けて……。
きれいだったな…。
控えめな胸も…、
スラリとした脚も…


まずはナイフだ。
ナイフを捨てよう…。
TRASH
TRA
ん?
あ!

家には…
もう帰れない――。
アラン?
早いのねっ。
もうデトロイト?
……。
え?
帰れない…って、
ママ?
?
アラン、落ち着いて…?
…感染!?
そんなっ――!
バーニィの
研究所に……?
ママー
どうしたの?
ガチャ
エミー。
家を出るわ。
仕度をしなさい。
え
何云ってるの
ママ?
パパは――?

パパは帰って来ないわ。
ええ!?
帰ってきても会っちゃいけないの。
?
危ないのよ。
ママっ！しっかりしてよ！云ってる事が変よ！
いいから!!仕度しなさい!!
ママは変だ……。
おかしくなってる…。
私がパパを助けなくっちゃ……。
そうか…。読めてきたぞ。これは〝人間〟の弱い一面なんだ。


バーニィや俺がハマキガやユスリカにやった事と一緒だ。
身体性への侵害。その暴力衝動の抑制がはずされているんだ。
性的な興奮がトリガーになって、殺人に至るまで止まらない。
因果はそれが、偶然なのか意図的なものなのか…。
んっ？
キキィ！
エミー!?
パパ…


お前…どうしてこんなところへ…
ダメだ……。
バーニィの研究所へ行くって聞いたからママがへんなの！
パパが危ないとか云ってどっか行こうとするの！
ダメだ…。
ダメだ……。
ママこそ変なのに。わたしはパパの味方だからね！
そうか…じゃあ——。
ダメだ 何を云っている!!
パパと——研究所に行くか？
うん!!
ガチャ…
バム…

ムースニーの近くに私の山小屋がある。
とりあえずそこに避難しなさい…。
男は一切信用するな。
例えそれが、私であってもだ。
いろいろと骨折ってくださってありがとう。バーニィ。バーナード・プレイス・ウェイト博士。

フォートオルバニーも解放されたらしいぞ！
いよいよか！
ただのガラ赤十字の作ったIIキャンプに
IIキャンプに
ドドドドーン
ドドドドーン
ドドドドーン

「時分割」ほどスマートじゃないが、
わたしは生物学者だからね。
わたしの作ったフェロモンで
人間は数百年は後退する。
それだけ破滅が遠のくわけだ。
ギュ
ギュ
すまんなぁ。
アン。
君たちを
こんな…
目に遭わせる
つもりは
なかったんだよ。
恨むなよ。
アン…。
バーナード？
あんた多分、狂っているわ。
おしまい
2005.8.12

# あとがき

何十年ぶりにペンでコマ割りしました。不惑過ぎのおっさんがやることではありません。内容も押して知るべし。ジェイムズ・ティプトリー氏のファンの逆鱗を逆撫でしない事を祈るばかりであります。

今回、この作出のためにまた十何年ぶりの徹夜作業を経験するハメに。仕事の傍らでの作業であるし、十分に予定を組んでいたつもりでしたが、考え違いは己の仕事量でありました。

やはり長い事離れていた事実はゆるがせにできないものです。予定がまったく進まない時に、思わぬ残業が入ると精神衛生的にもよろしくなかった。

今後がもしあれば、十分なる反省としたいところです。。

さて、よくティプトリー評で聞かれるのは、この人の身に迫る疎外感でした。オタクを自認する人ならすべからく感情移入できる部分ではないか、とも思えるのですが、まったく意思の疎通がとれないがゆえに紡がれる、悲劇だったり喜劇だったり。

数あるティプトリー作品の中ではこの「ラセンウジバエ解決法」はあまり高い評価は頂いてないようでした。

古くさいアイディア、ヒネリのないタイトル、ともっともな云われ様でもあるのですが、私がこの作品でいたく感銘を受けたのは、認識が気づかぬうちにズレてしまう点でした。昨日の延長を続けていると、当の本人は思っているのですが、実はすでにゾンビだったり、死霊だったりになってしまっている。今昔物語や雨月物語にこそふさわしい、こっけいさです。それが侵略モノの筋立てで語られる。

今回の脚色がそうだ、とはお世辞でも云えませんが、そんな感触がそこはかとなくでも、読み取っていただけましたなら、作者にとって、もはや望外の極みです。

公私ともに影なり、日向なりに応援してくださった皆様に感謝を、過ぎ去った日々の情熱を灰の中から焚き付けてくださった、有名無名の作家方に尊敬と敬意を、ここに捧げさせていただきます。

2005年8月12日

西暦 2005 年 8 月 12 日

制作：工房ギルドウッド

[redacted]